

第2次計画期間中の成果

- ・健康寿命の延伸。自殺死亡率の減少
- ・生涯歯科計画、自殺対策計画、第2次食育計画の策定・推進（分野毎のアプローチの推進）
- ・関係機関・関係団体と連携した健康づくり
- ・「健康」への関心は高めることが出来た

残された課題

- ・悪化した指標（健康課題）が47指標（23.4%）ある
※野菜不足、塩分過多、運動習慣、喫煙率、不安・ストレス など
- ・健康の関心は高まったが、具体的な健康づくりの行動は不十分
- ・働き盛り世代、無関心層へのアプローチが弱い
- ・生活習慣病の予防・重症化予防の取組が必要
- ・予防に対する取組（例：健（検）診受診、望ましい習慣）の推進

今後の守山市の
変化（予想）

- ・人口は計画終期の令和17年度まで増加。令和17年度には高齢化率は1/4（約25%）を超える
- ・現時点で、男女とも最も多い50歳前後への健康づくりが、将来の医療費・介護給付費に大きく影響
- ・コロナ禍後の新しい生活様式への対応、多様な個人への健康づくりの推進、DXの推進 など

（参考）健康日本21（第3次）の新たな視点

- ①女性の健康に着目
- ②自然に健康になれる環境づくり
- ③他計画や施策との連携
- ④個人の健康情報の見える化・利活用
- ⑤アクションプラン（具体的な事例など）の例示

基本理念

誰もが健やかで心豊かに自分らしく暮らせるもりやまの実現

（基本方針）

①生涯を通じた健康づくり

ライフステージ（特に働き盛り世代）、ライフコース（女性など）に着目した切れ目のない生涯を通じたアプローチ

②誰一人取り残さない健康づくり

集団や多様化する個人の特性に応じた健康づくりの推進（生活習慣病対策・食育・歯科・運動（身体活動））

③誰もがその人らしく健康に暮らせる環境づくり

多様な主体と連携し、全ての市民が自然に健康になれる環境づくりの推進

④心身の健康を一体的に推進する健康づくり

こころの健康とからだの健康は密接に関連することから一体的に推進

全ての市民の健康づくりを
そっと後押しし、自分らしく
暮らせるよう計画を推進

